

平成 30 年 4 月 10 日

3 年生の保護者の皆様

「学びに向かう力」の育成をめざした学習活動について

枚方市立招提北中学校
校長 山本 俊夫

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。新年度がスタートしました。今年度につきましても、本校の教育活動に対するご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

さて、次期学習指導要領が示され、今の子どもたちが大人になった時、どのような力が求められるのかということが国レベルで示されました。これまでの、いわゆる「学力」は、「どれだけの知識を覚えられるか、覚えられたか」が問われていました。しかしながら、それらはAI（人工知能）やスマートフォン等の電子機器に取って代わり、これからは「得られた知識・技能をどう活用できるか」「多様な意見を聞く中で、自分の考えをしっかりと持ち、どのように発信していくか」「社会・世界の中で通用するコミュニケーション能力」など、人間にしかできないような能力が問われる時代が来る（来ている）と予想されています。

これらの「力」は、これまでのような「講義形式」の授業形式だけでは育成することはできません。これらの「力」を育成するために「聴いて 考えて つなげる」学習活動を展開していくことが求められています。つまり、「人の話を聴き、聴いたことを基にして自分で考え、それをさらに自分の中で再構成して意味づけをした後、他者に自分の考えを伝える」という過程を通して、自分の考えを深めていくような学習活動を推進していくことが求められているのです。

そこで昨年度、本校教職員による多くの研究会・学習会への参加、先進校視察、授業研究会・研修等を行ってまいりました。その結果として、今の招提北中学校の生徒たちに「確かな力」「生きる力」をつけさせるための方策として、様々な学習形態を取り入れた学習活動を実践していくことが必要であると考えました。

1・2年生では「コの字形」の机配置をベースにしておりますが、3年生でも、授業内容によって「講義形式（従来の全員前を向く形式）」「グループ活動」「コの字形」を取り入れた学習形態を実施していくことを考えております。

これもすべて、招提北中学校の生徒たちが、「わかった」「学ぶことが楽しい」「もっと学びたい」と夢中になるような教育活動を展開し、将来にわたって必要とされる「学びに向かう力」を育成していきたいとの思いからであるとご理解いただき、ご協力よろしくお願いいたします。